

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

★ 安全リレー ★



大分県における安全・適正就業の取組み

1. 大分県シルバー人材センター連合会の概要（平成30年3月31日現在）

- ・センター数 14 団体（国庫補助団体 13 団体、補助対象外 1 団体）
- ・会員数 5,292 人（男性 3,759 名、女性 1,533 名）
- ・就業実人員 4,804 人（請負・委任 4,304 名、派遣 500 名）
- ・就業延人員 486,095 人日（派遣を含む）
- ・就業率 81.3%（請負・委任）、68.3%（派遣）
- ・受注件数 38,902 件（派遣含む）
- ・契約金額 24 億 3,997 万円（派遣含む）

2. 大分県内の事故発生状況

（1）平成29年度 傷害事故状況

【就業区分別・仕事内容別・事故の型別 集計表】

仕事内容 \ 事故の型	墜落 転落	転倒	飛来 落下	切れ・ こすれ	交通事故 (道路)	蜂・犬・蛇等 に刺され・噛 まれ	その他	総計
総計	6	10	2	4	1	21	3	47
除草、除草剤散布、草刈り	2	2		1		18	3	26
植木職、造園師	1	1	1	3		3		9
ビル・建物清掃員		1			1			2
道路・公園清掃員		2						2
その他の清掃の職業	1	1						2
他に分類されない運搬、 清掃、包装等の職業		1	1					2
その他の福祉サービス		1						1
その他の居住施設・ビル等 の管理の職業	1							1
他に分類されないサービス の職業		1						1
伐木・造材・集材作業員	1							1

(2) 平成 29 年度 損害賠償状況

【就業区分別・仕事内容別・事故の型別 集計表】

事故の型 仕事内容	飛散させた物 で損壊	器具・用 具を接触 させて損 壊	落下さ せて損 壊	倒した り、ぶつ けたりし て損壊	自動車・機 械・用具等の 誤作動	運搬・搬出 中に損壊	その他の 就業中の 損壊	総 計
総 計	28	9	2	3	1	2	2	47
除草、除草剤散布、 草刈り	24	4				1	1	30
植木職、造園師	1	4		1				6
他に分類されない運 搬、清掃、包装等の 職業	3			1		1	1	6
伐木・造材・集材作 業員			1	1				2
その他の家庭生活支 援サービスの職業		1						1
その他の農業の職業					1			1
その他の清掃の職業			1					1

(3) 大分県内の過去 5 年間（平成 25 年度～平成 29 年度）の事故発生状況

年 度	会 員 数			就業延人員 (人日)	事故発生件数			内死亡事故 (件数)	後遺障害 (件数)
	男	女	計		就業中	途上	計		
H 2 5	3,860	1,502	5,362	428,822	47	1	48	0	1
H 2 6	3,777	1,538	5,315	454,549	29	1	30	0	0
H 2 7	3,794	1,541	5,335	451,697	41	3	44	0	2
H 2 8	3,757	1,531	5,288	446,531	44	3	47	0	1
H 2 9	3,759	1,533	5,292	445,621	43	4	47	0	3
平 均	3,789	1,529	5,318	445,444	41	2	43.2	0	1.4

3. 大分県連合会における安全・適正就業推進の取り組み

(1) 「安全・適正就業推進委員会」の開催について

各センターの事務局長を委員とした委員会を、平成 30 年 10 月 11 日（木）佐伯市で開催しました。

この委員会では、都道府県シルバー連合事務局長会議の資料を基に、全国における傷害事故の発生状況やその安全対策、さらには適正就業ガイドラインに沿った業務運営の徹底等について、検討・協議を行いました。

また、県内のシルバー人材センターの事故状況や損害賠償保険の給付状況等を参考に、事故撲滅に向けた各センターの重点的な取り組みをお願いしました。



(2) 安全・適正就業に係る「標語」の募集について

毎年、「安全・適正就業強化月間」（7月1日～7月31日）事業の一環として、安全就業〔交通安全を含む〕意識の高揚を図るため、「標語」の募集を行いました。

県内の各センターから739点の応募があり、最優秀賞は大分市シルバー人材センターから応募のあった、下記作品に決定しました。

「あぶないよ 慣れと過信と 気のゆるみ」

受賞者には、県連合会長から賞状と記念品が授与されました。

(3) 安全・適正推進委員会要領の基本計画に基づく「安全衛生研修会」等の開催について

①第1回安全衛生研修会の開催〔平成30年7月5日（木）〕

大分県労働基準協会特殊技能教育センターにおいて、各シルバー人材センターの安全担当職員及び班長クラスの会員を集め、各種作業時の熱中症予防を含む安全管理対策の重要性と心得について、労働基準協会専門員による研修会を開催しました。

②安全管理対策会議の開催〔平成30年7月31日（火）〕

県内センターで発生した会員の熱中症による死亡事故を受けて、各センターの事務局長並びに安全担当職員及び会員を集めて緊急開催したもので、日本赤十字社大分県支部並びに大塚製薬福岡支店から講師を招聘し、熱中症対策に重点を置いた会議を開催しました。

また、各センターの熱中症対策を事務局長から発表いただき、他センターの各種対策を参考にし、更なる安全管理対策の見直し等の強化をお願いしました。



〔安全管理についての講義風景〕



〔受講風景〕



〔熱中症についての講義風景〕



〔事務局長の発表風景〕

③第2回安全衛生研修会の開催〔平成31年3月13日（水）〕

剪定作業中の会員が転落する事故が続いたため、各シルバー人材センターの安全担当職員及び剪定班の班長クラスの会員を集めて、転落制止用器具〔安全带〕の取扱要領やその必要性、さらには保護帽〔ヘルメット〕の重要性等について、講義及び体験実習を組み込んだ研修を開催しました。



〔フルハーネスの着用体験風景〕



〔保護帽の正しい被り方等について〕

（4）安全管理に係る「注意喚起文書」の発出状況について

- ①熱中症予防の普及啓発・注意喚起について ※各センターの事務局長あて
○30全シ協発第54号通知に基づく注意喚起を、6月1日に発出した。
- ②熱中症予防の徹底と注意喚起について ※各センターの理事長あて
○熱中症による会員の死亡事故を受けて、7月17日に緊急発出した。
- ③熱中症予防対策の徹底について ※各センターの安全担当者あて
○高温気象が続いたため、安全対策の徹底を図るため7月19日に担当者あて発出した。
- ④熱中症予防の普及啓発・注意喚起について ※各センターの事務局長あて
○全シ協からの再徹底の指示に基づく注意喚起を、7月24日に発出した。
- ⑤転落事故防止と注意喚起について ※各センターの理事長あて
○剪定作業中の会員が転落する事故が続いたため、11月14日に緊急発出した。

（5）「安全・適正就業推進委員会」等における安全対策の普及啓発について

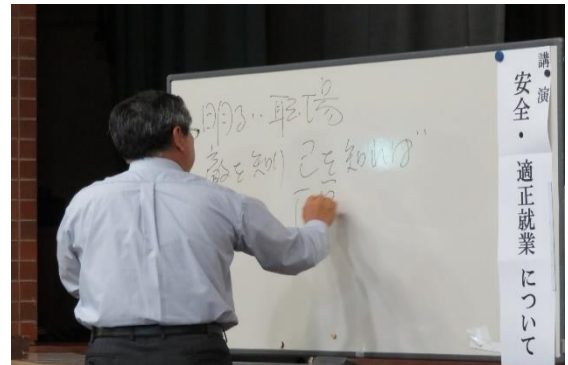
各センターの安全・適正就業推進委員会等において、全国シルバーの「重篤事故発生状況」・「年度別の傷害事故発生状況」、大分県内の「過去5年間の傷害事故発生状況」・「損害保険の適用状況」・「安全ニュース」等の資料を基に、今後の安全対策の在り方等について講演を行いました。

また、それぞれのセンターで発生した事故については、その都度真の原因を追求し、しっかりと再発防止策となるよう見直し等をお願いしました。

① 日出町シルバー人材センター

総会后 5月28日(月) 10時00分～

日出町中央公民館 ホール ○講演内容 [安全・適正就業について]



② 国東市シルバー人材センター

安全・適正就業委員会 10月22日(月) 10時30分～

国東市SC国東支所 会議室 ○会員の就業に係る事故防止と適正就業について



③ 由布市シルバー人材センター

安全・適正就業委員会 10月25日(月) 10時30分～

由布市SC事務所 会議室 ○安全パトロールの実施結果と今後の対応について



(6) 「安全パトロール」の実施状況について

平成30年度は、各センターからの要請により3センター10箇所について、連合会職員による安全パトロールを実施しました。

特に、作業前の危険予知ミーティング、作業手順の確認、作業量を考慮した配置、保安帽・安全带・脚立等の正しい使用方法等の徹底をお願いしました。

① 日出町シルバー人材センター

8月2日（木） 8：30～



〔草刈り作業中の風景〕



〔冷たいおしぼり等配布〕



〔救急バックの準備〕

② 国東市シルバー人材センター

10月22日（月） 8：30～



〔草取り作業中の風景〕



〔樹木へ散布中の風景〕



〔飛散防止シートの活用〕

③ 由布市シルバー人材センター

10月25日（水） 9：00～



〔草刈り作業中の風景〕



〔作業にあたっての諸注意〕



〔滑り止めアイゼンの活用〕

(7) 安全就業ハンドブック・安全就業のためのチェックポイント・安全就業缶バッジ等の配布

安全就業の普及啓発を図るため、安全就業ハンドブック・安全就業のためのチェックポイント・安全就業啓発缶バッジ等を作成し、講演や安全パトロール時に直接会員へ配布しました。また、適正就業ガイドラインの周知・徹底を図るため、小冊子を作成し全センターへ配布しました。



『安全は全てに優先する。』を合言葉に

『事故ゼロ』を目指して取り組んでいます。

大分県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

★ 4S(整理、整頓、清掃、清潔)を徹底しましょう ★

今年度も残すところ、わずかになりました。

気温は日々段々と暖かくなってきており、寒い日もありますが確実に春が近づいてきているように感じます。

さて、今月は、4S(整理、整頓、清掃、清潔)について取り上げてみました。

①整理

「整理」は、必要なものと不要なものを区分し、不要、不急なものを取り除くことです。要るもの、要らないものに分けるためには、何らかの判断の基準が必要になります。現場の作業方法では必要と認められていても、その場所にその物が必要か、それだけの量が必要かなどの改善の余地はないかを検討し、よりよい方法が見つければそれを新しい判断の基準、すなわち作業標準として定めてゆくことが出来ます。

②整頓

「整頓」は、必要なものを、決められた場所に、決められた量だけ、いつでも使える状態に、容易に取り出せるようにしておくことです。工具・用具のみならず資材・材料を探す無駄を無くすことが出来ます。安全に配慮した置き方をすることが大切です。

③清掃

「清掃」は、ゴミ、ほこり、かす、くずを取り除き、油や溶剤など隅々まできれいに清掃し、仕事をやりやすく、問題点が分かるようにすることです。転倒などの災害を防ぐことも大事なことです。機械設備にゴミやかすが付着していると製品に影響が出たり機械に不具合が発生することも懸念されます。

④清潔

「清潔」は、職場や機械、用具などのゴミや汚れをきれいに取って清掃した状態を続けることと、そして作業員自身も身体、服装、身の回りを汚れの無い状態にしておくことです。

4Sとは、職場の仕事に、必要なものだけが置かれ、必要なものがいつも同じ場所にあり、必要なものが汚れのない状態であり、いつ見ても職場がその状態であって作業員の身体や服装がきれいであるかという状態にあるようにする活動のことなのです。4S活動は、職場を単にきれいにするという表面的なことではなく、職場の安全と作業員の健康を守り、そして生産性を向上させる教育プログラムであって、この好ましい状態を維持することなのです。

(出所 厚生労働省HP)

平成 30 年度 2 月事故速報

(1) 重 篤 事 故

2 月は、3 件の重篤事故報告がありました。

2 月までの累計で比較してみると、平成 29 年度の 39 件に比して平成 30 年度は 35 件と 4 件減少しています。しかしながら、過去 5 年間で最も事故件数が少なかった平成 28 年度の年間累計 28 件を 7 件も超える状況となっています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では平成 29 年度の 28 件に比して 25 件と 3 件の減少となっており、また就業途上においては、平成 29 年度の 11 件と比して 10 件と 1 件の減少となる結果となっています。

2 月報告分までの累計

平成 30 年度 2 月 累 計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				平成 29 年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	25 (3)	20 (3)	5 (0)	23 (3)	2 (0)	就業中	28	18	10	28	0	
就業途上	10 (0)	8 (0)	2 (0)	8 (0)	2 (0)	就業途上	11	8	3	8	3	
計	35 (3)	28 (3)	7 (0)	31 (3)	4 (0)	計	39	26	13	36	3	

↳ 対前年度比 90.0%

※ () 内は 2 月報告分

2 月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
33	男 79 歳	就業中 (死亡)	三脚 (3m 位) の上での作業を終えて、片手に電気バリカンを持ち、体を斜めにしながら三脚を降りる際、三脚の下から五段目付近で腰に付けていた剪定ハサミのホルダーが三脚のステップの隙間に引っかかりバランスを崩し転落した。その後通院していたが容態が悪化し 10 日後に死亡した。	○	○	—
34	男 83 歳	就業中 (死亡)	除草剤散布現場を下見中に 2m の高さの擁壁からつまずいて、水路の会所に落下し脊髄等を骨折した。特に頭部、頸部、肺部の損傷が大きく入院したが、約 4 ヶ月後に死亡した。	—	—	—
35	男 84 歳	就業中 (死亡)	会員 15 名で草刈就業中、休憩直前に会員 A が自家用軽自動車を移動しようとして土手に乗り上げ横転しそうになったため、会員 B、C が駆け付け 3 名で車輛を戻そうとしたが、さらに人数が必要と判断し、会員 B が応援を呼びに行ったところ、会員 2 名では支え切れず車輛が流れ出し、通路反対側の土手に衝突して止まった。会員 A、C が車両に近づいたところ、会員 D が土手と車両間に挟まれており、救急搬送されたが死亡した。	○	—	—

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

2月は、就業中の事故19件、就業途上の事故7件と、合計26件であり、昨年度同月31件と比して5件の減少となっている。また、男女別では、男性は6件の増加となっているのに対して、女性は11件の減少であった。

2月までの累計で比較してみると、昨年度の件数に比して、本年度は282件と同数となっている。就業中・就業途上別にみると、就業中は10件の減少となっているのに対して、就業途上は10件の増加となっている。男女別では、男性は8件の減少となっているのに対して、女性は8件の増加となっている。

平成30年度2月分

	仕事の内容	事故数(件)		うち男性(件)		うち女性(件)		平均年齢(歳)	
		2月	累計	2月	累計	2月	累計	2月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	6(4)	78(91)	6(4)	77(89)	0(0)	1(2)	73	74
	除草作業	5(2)	42(36)	4(1)	33(28)	1((1)	9(8)	78	75
	屋内・屋外清掃作業	2(8)	27(32)	0(3)	11(8)	2(5)	16(24)	70	72
	その他	6(1)	52(50)	5(1)	36(39)	1(0)	16(11)	75	75
	計	19(15)	199(209)	15(9)	157(164)	4(6)	42(45)	74	74
就業途上	徒歩	2(4)	24(21)	1(2)	6(8)	1(2)	18(13)	70	75
	自転車	4(8)	37(30)	4(3)	17(15)	0(5)	20(15)	79	75
	バイク	0(3)	14(20)	0(1)	4(9)	0(2)	10(11)	-	77
	自動車	1(1)	8(2)	1(0)	4(0)	0(1)	4(2)	86	75
	計	7(16)	83(73)	6(6)	31(32)	1(10)	52(41)	77	75
合計		26(31)	282(282)	21(15)	188(196)	5(16)	94(86)	75	75

()は平成29年度同月、累計では同月までの発生件数

- ・平成31年1月報告分に「その他の作業(就業中)」(1ヶ月以上の入院)を1件計上したが、実際には30日未満の入院であったことが判明したと後日報告があったので、累計件数からその分(1件)を差引いた。

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います。
(平成30年4月24日付 全シ協 事務局長通達により通知済)

編集後記

急に春めいて、桜の便りも聞こえてきました。この時期、花粉症の私はくしゃみ、鼻水、目のかゆみといった症状に悩まされる毎日です。それに加えて、先日、不覚にもロフトの梯子を踏み外し、応急手当が幸いして大事には至りませんでした。打撲で人には見せられないほどのひどいアザができています。これも、ちょっとした気の緩み。もっと慎重に降りればよかったと思うものの「後悔先に立たず」。年度末まで残り僅かとなりました。みなさま、健康に留意され、気を引き締めて、安全就業に努めてください。今年度も「安全就業ニュース」をご愛読いただきまして、ありがとうございました。来年度も引き続きよろしく願いいたします。(松山)

まだまだ寒い日が続いておりますが、皆様お元気ですか。今月は4S（整理、整頓、清掃、清潔）について特集しました。日頃作業する場所よりも目の行き届かないところに乱雑に物などが置かれており、置かれたものにつまずいて転倒したり、上から物が落ちてくることにより、思わぬ怪我につながる危険があるように思われます。そのような危険を回避するためには、4S（整理、整頓、清掃、清潔）を徹底しましょう。(笹野)

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

<頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



【改訂の内容】

- 1 現行のB5版／16頁からA4版／20頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成27年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

頒布価格 216 円 A4 判
(税込・送料実費)

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 TEL 03-5665-8013】